

WIPH

World IP Holdings

人の生活の質 (QOL) と生活知財

～新技術開発から生活へ実装可能な技術開発へ～

Strategic Planning for IP Innovation and Technology Innovation, based on QOL

Try not to become a man of success but rather to become a man of value.

By Albert Einstein

発表資料内文言の定義と仮定

生活の質(QOL)

個人の生活と社会の間に生じる「質」で、各個人が社会で生活を営む範囲と個人の経験と修養された知識に基づいて変化する他人と相対的な指標。

QOLサイエンス

人の生活へ実装すべき技術を研究し、社会科学を基に既存技術の利用と実装に必要な社会制度の研究。

QOLエンジニアリング

QOLサイエンスを基にして、実装すべきテクノロジーと社会制度をセットで開発する工学。

QOL応用ビジネス

QOLエンジニアリングを基にして、実装すべき技術と社会制度を運用する為の雇用と仕事。

情報薬

人の生活の質に作用または機能をもたらす情報。

生活知財

個人が生活の質を持続する為に必要な知的財産で、人が社会で生活する為に必要な情報(情報薬)と、人が変化する社会に適応する為に必要な技術を利用(実装)する為に必要な権利をさします。

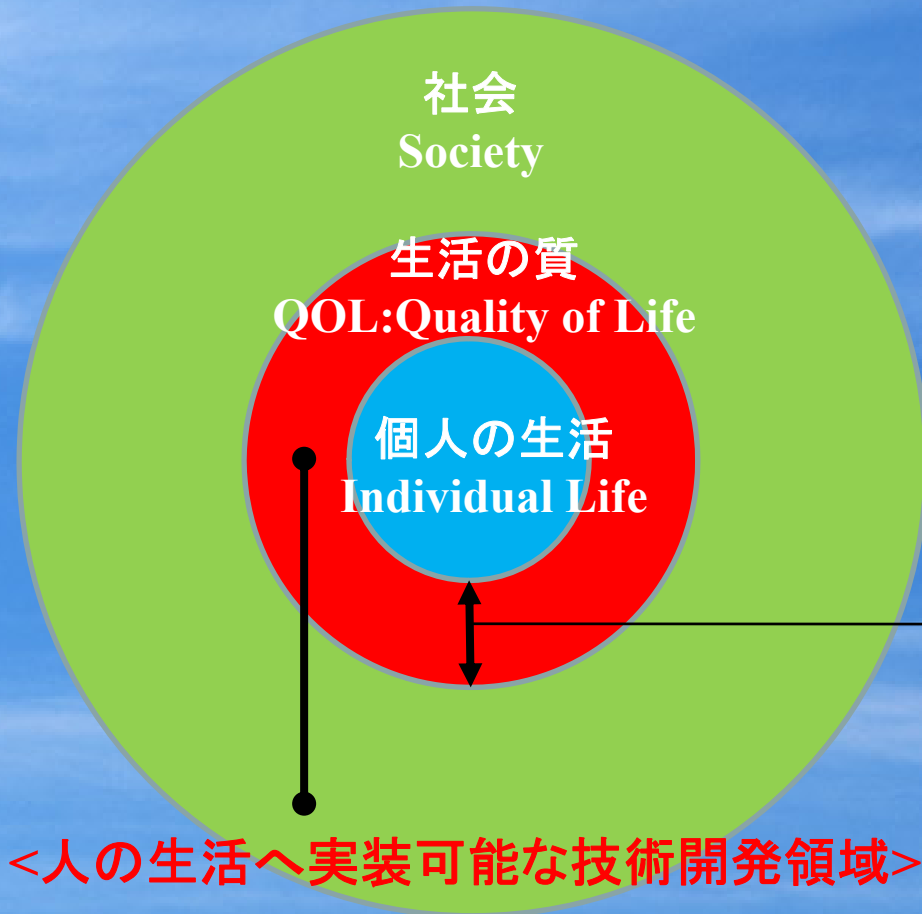
フォーワード・テクノロジー

新たな領域開拓へ向けた技術開発への技術。

カウンター・テクノロジー

既存の技術を人が生活で利用できるようにする為の技術。

QOL(生活の質)の仮定と生活知財の定義



生活の質(QOL)とは、個人の生活と社会の間に生じる「質」で、各個人が社会で生活を営む範囲と個人の経験と修養された知識に基づいて変化する他人と相対的な指標

生活知財とは個人が生活の質を持続する為に必要な知的財産で、人が社会で生活する為に必要な情報(情報薬)と、人が変化する社会に適応する為に必要なテクノロジーを利用(実装)する為に必要な権利をさします。

<人の生活へ実装可能な技術開発領域>

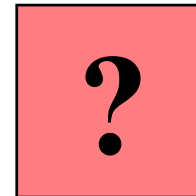
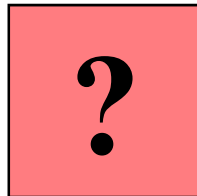
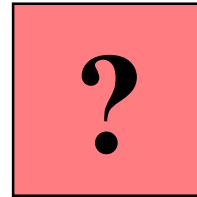
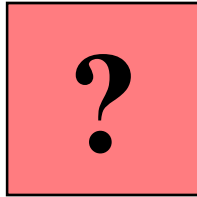
<QOLサイエンス>→人の生活へ実装すべき技術を研究し、社会科学を基に既存技術の利用と実装に必要な社会制度を研究。

<QOLエンジニアリング>→QOLサイエンスを基にして、実装すべき技術と社会制度をセットで開発する工学。

<QOL応用ビジネス>→QOLエンジニアリングを基にして、実装すべき技術と社会制度を運用する為の雇用と仕事。

Unknown Informations

Informations?
情報？



Recognition of Informations

A Group of Informations?
情報の集まり？

N

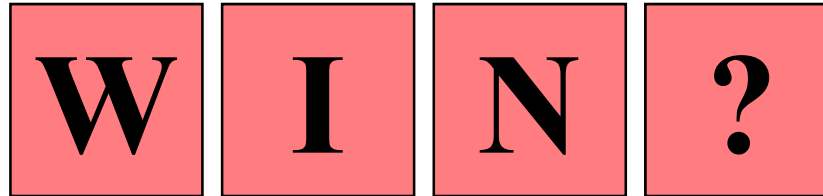
W

I

?

Validation of an Information

An Information or wrong information
情報または間違い



Unknown Information

An Information?
情報？



Increased Information

An Information?
情報？



More Information
情報量の追加

More Information
情報量の追加



Recognizable Amount of Information

An Information?
情報？



More Information
情報量の追加

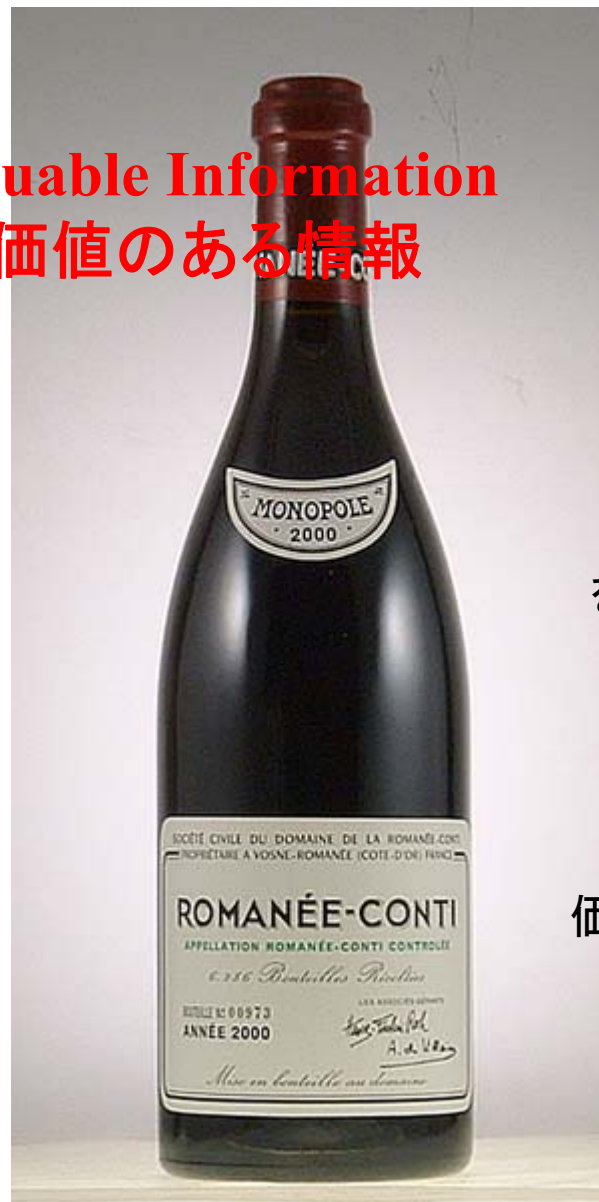
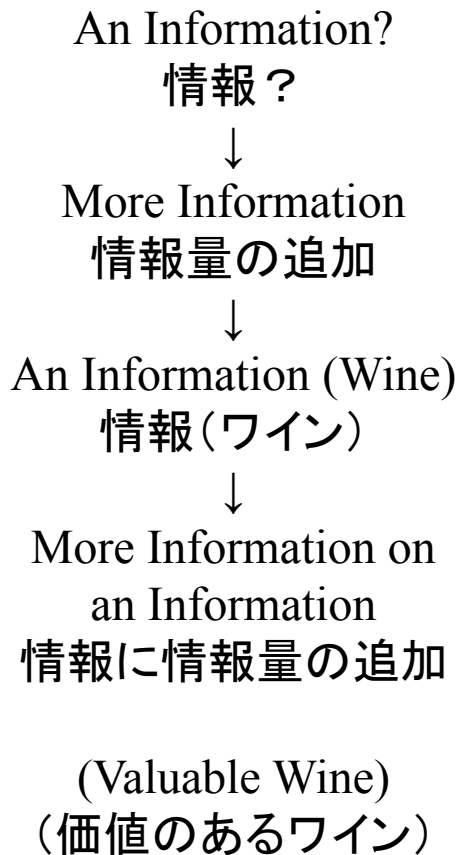


An Information (Wine)
情報(ワイン)

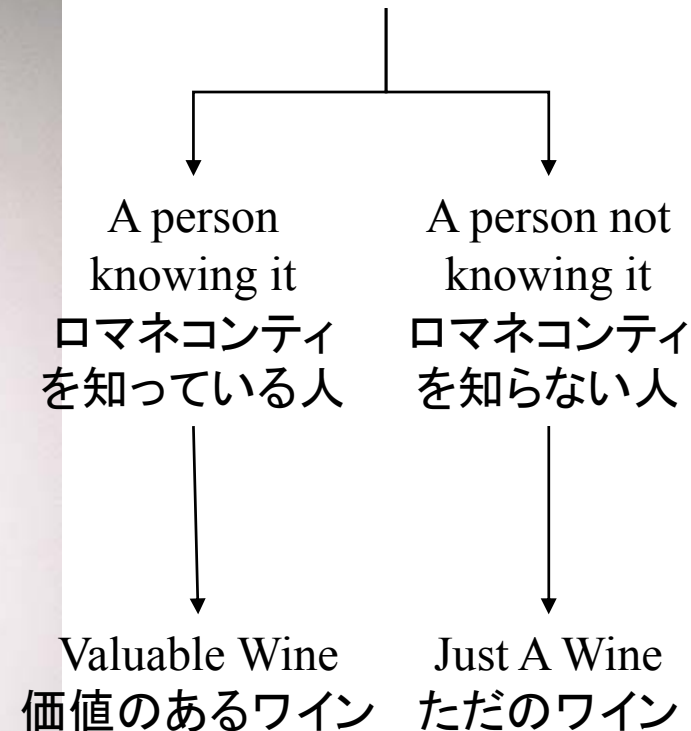


Decorating Information

Valuable Information 価値のある情報



What is Romanee-Conti?
ロマネコンティって何?



Structuring An Information

A Group of Informations?
情報の集まり？

N

W

I

?

Recognizing Right Informaion

A Group of Informations 情報の集まり

N

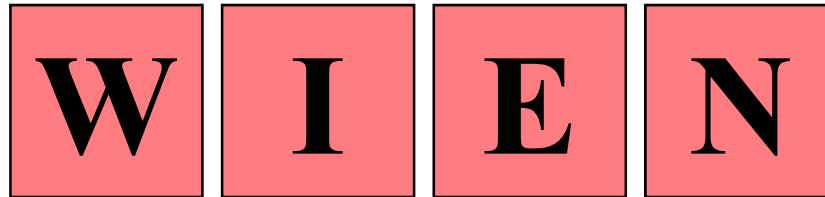
W

I

E

Recognizing An Information

An Information
情報



Recognizing Another Information

An Information
情報

W I N E

Comparison of Structured Informations

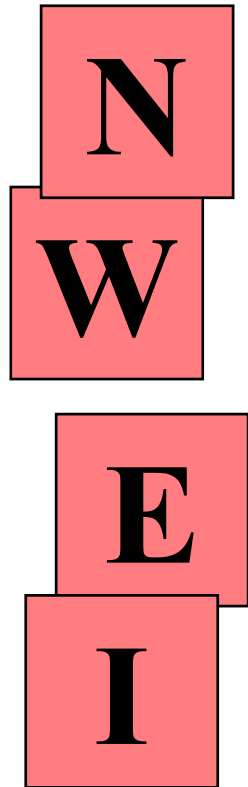
Different Structures of Informations 異なる構造の情報

W I E N

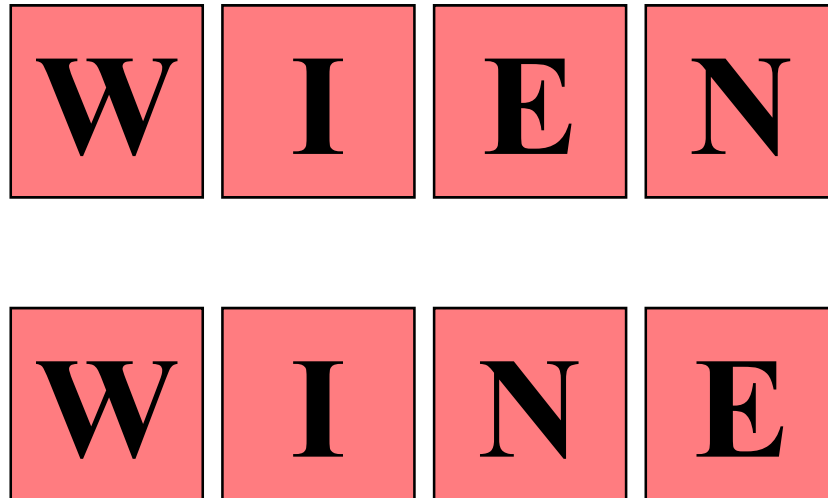
W I N E

Extracting Meanings of Informations

Informations
情報



Different Structures of Informations
異なる構造の情報



Different Values of Informations
異なる価値の情報

Wien

German name of a town
in Austria

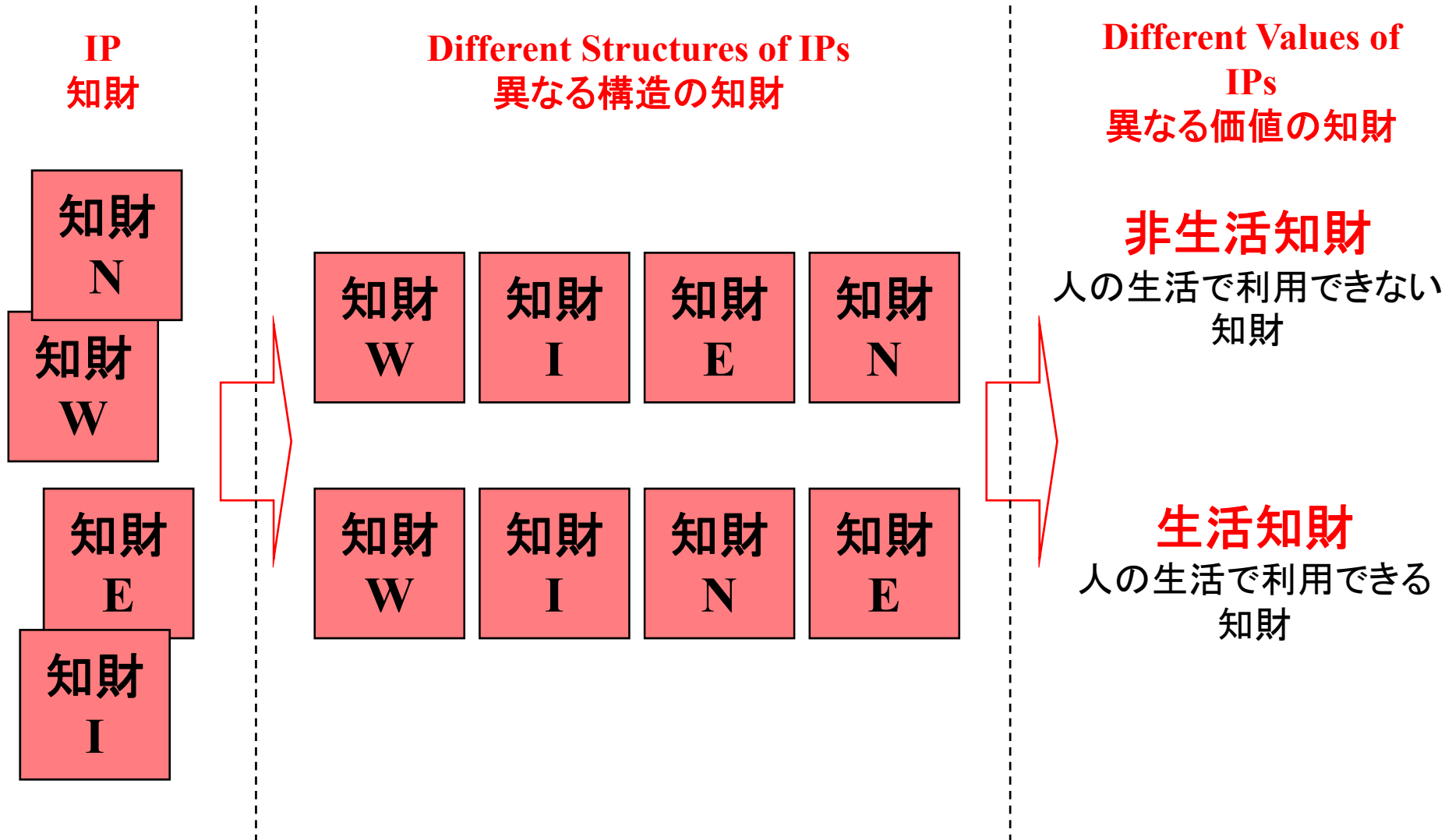
ドイツ表記のオーストリア
の町の名前

Wine

an alcoholic drink made
from fermented grape juice.

発酵させた葡萄ジュース
から作られたアルコール
飲料

Extracting Meanings of IPs



A Meaning into a Value

Valuable IP in our Life 人の生活で価値のある知財

An Information?
情報?



More Information
情報量の追加

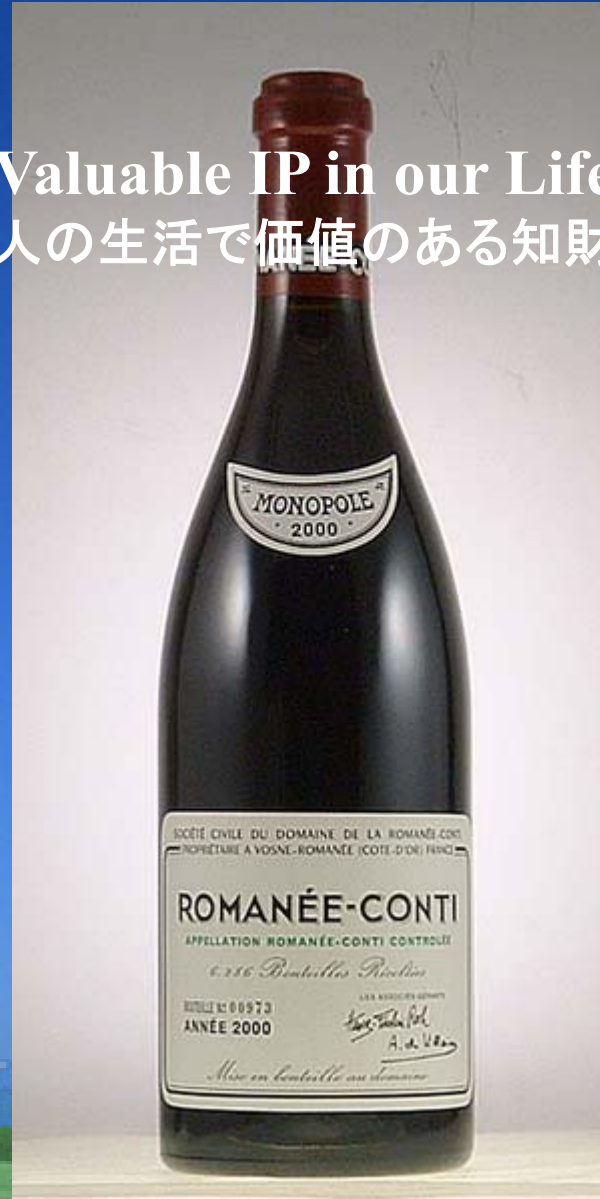


An Information (Wine)
情報(ワイン)



More Information on
an Information
情報に情報量の追加

(Valuable Wine)
(価値のあるワイン)



Basic IP(W, I, N, E)
基本知財



Structuring Basic IP
知財の構造化



Into Implementable Life IP
生活に実装可能な知財化



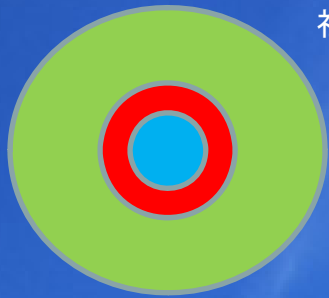
Ornamenting Valued IP
知財の装飾

Design of Life IP 生活知財のデザイン

「社会の質」と「個人の質」の平衡関係

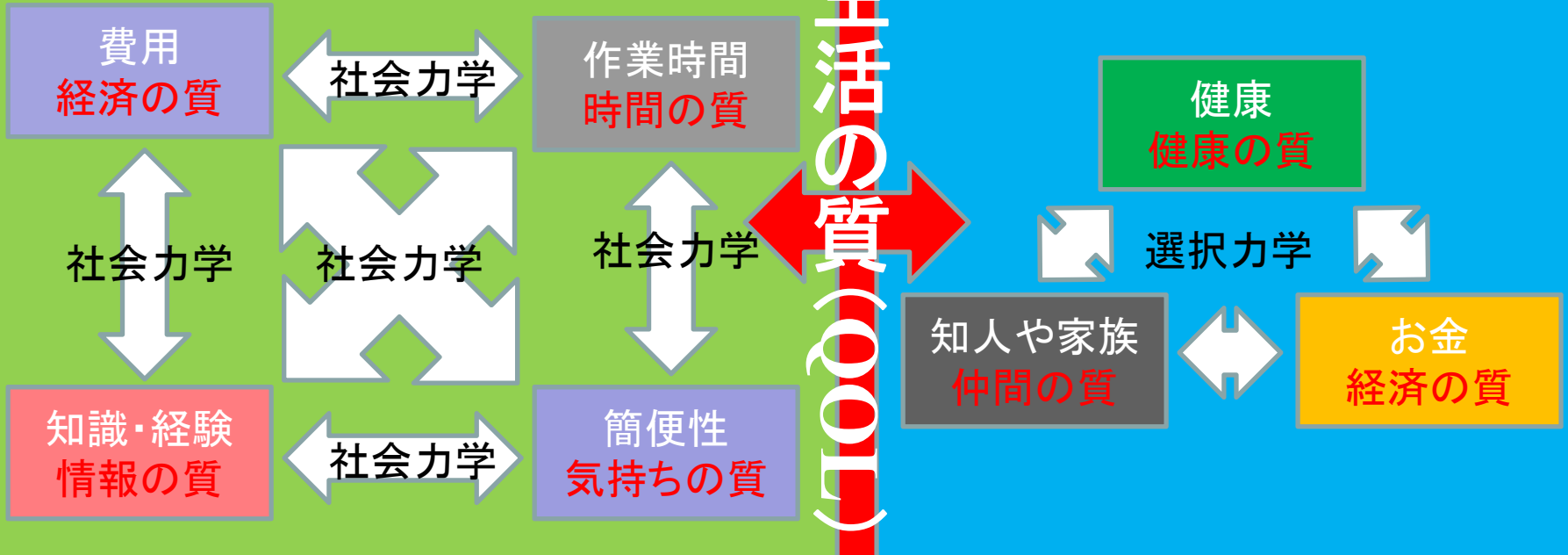
「社会の質」の制御因子

「個人の質」の制御因子



社会の質 エネルギー、お金、価値⇔社会動力

個人の質

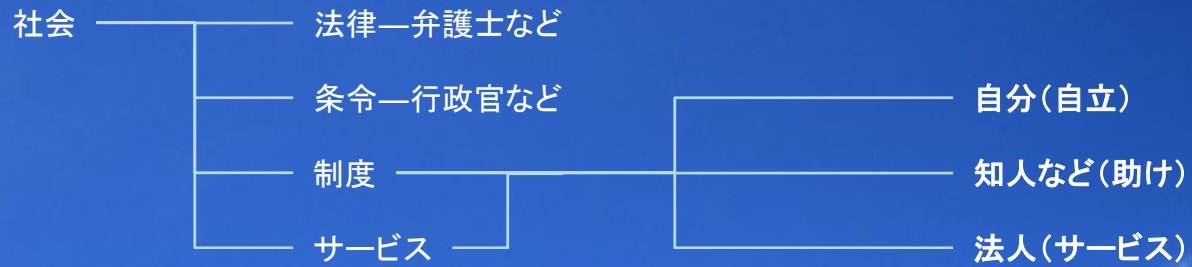


生活の質の定量化と生活の質の選択



「社会の質」の制御因子

「個人の質」の制御因子



$\alpha(\text{質})=A+B+C+D=E+F+G+H=I+J+K+L$ のような関係式がある個人で成立すると仮定

健常者

	費用	作業時間	簡便性	知識・経験	質総計
自立	A	B	C	D	α
助け	E	F	G	H	α
サービス	I	J	K	L	α

被介護者
健康の質低下

助け	E	F	G	H	α
サービス	I	J	K	L	α

低所得者
経済の質低下

自立	A	B	C	D	α
助け	E	F	G	H	α

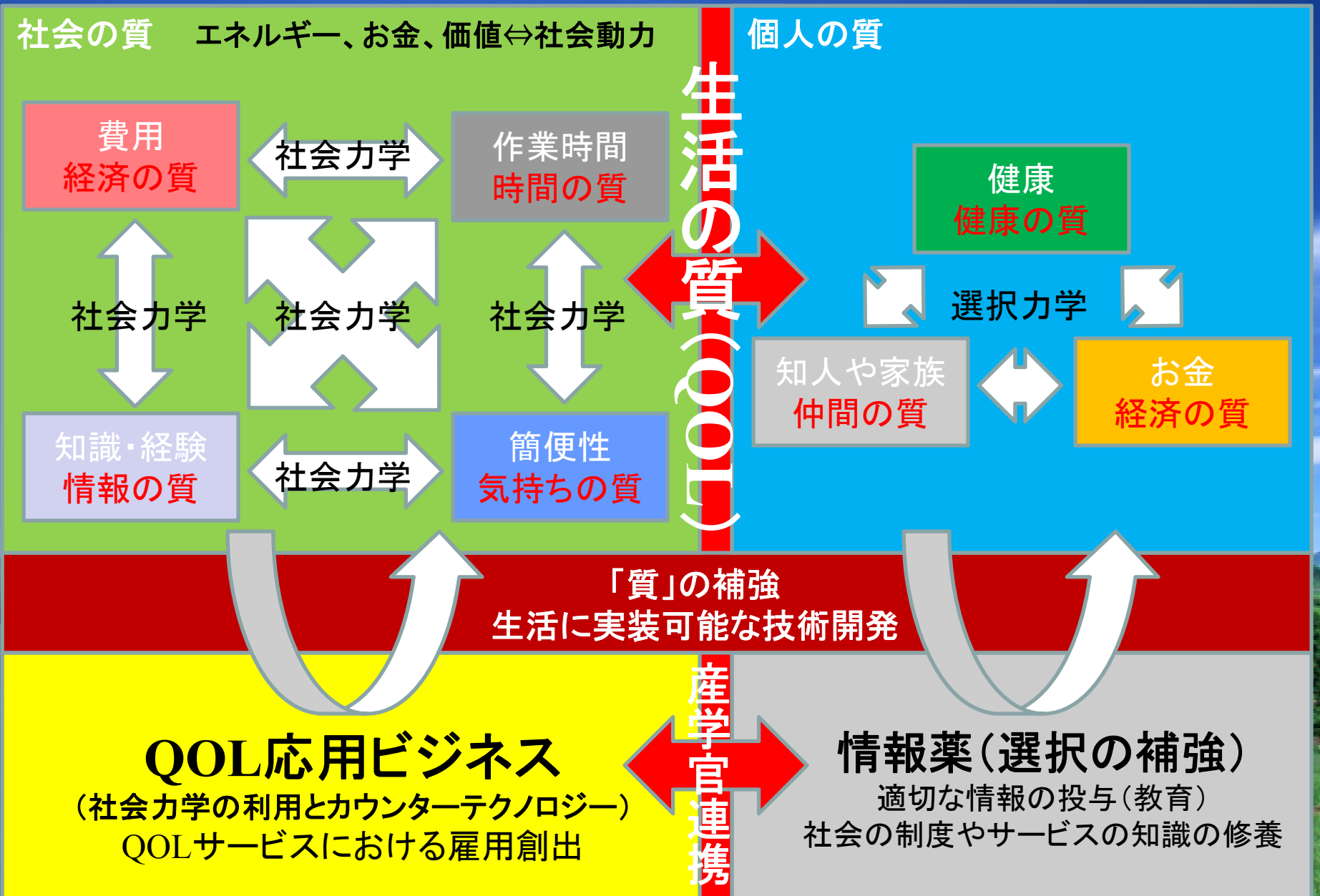
孤独者
仲間の質低下

自立	A	B	C	D	α
サービス	I	J	K	L	α

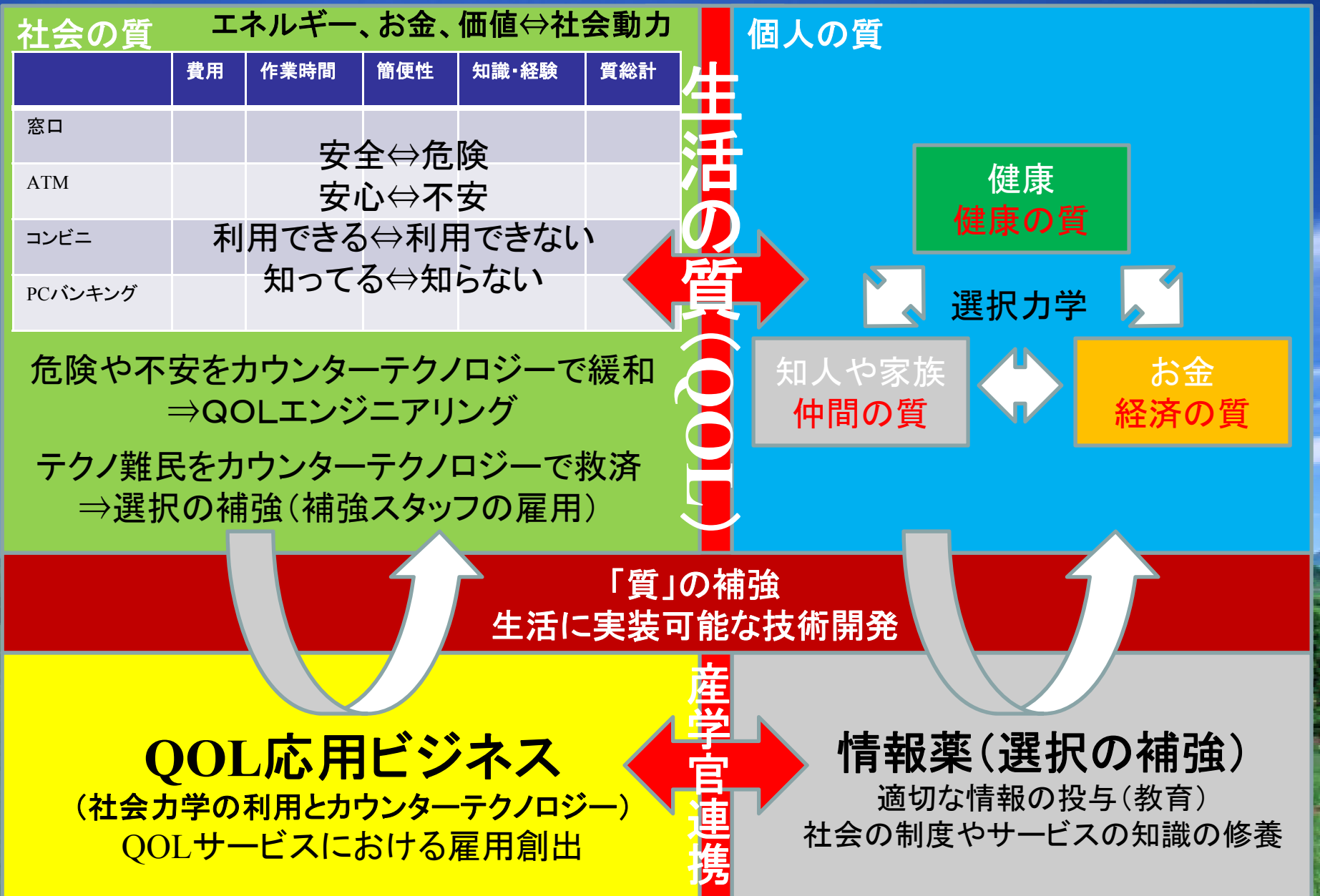
コミュニケーションの質低下

選択の補強で、生活の質を維持

「質」の補強による雇用創出と教育の役割



質の補強を利用した雇用創出モデル(例)



フォーワード・テクノロジーからカウンター・テクノロジーへ

～環境テクノロジーは何故いま必要か～

エネルギー
Energy

健康
Health care

お金(価値)
Money(Value)

Nano-Bio-Technology
(創薬、オーダーメイド医療など)

Mobile Technology

- メタボ→生活習慣病
- テクノメタボ→テクノ難民
- 健康メタボ→超高齢化社会
- 社会活動メタボ→ストレス・自殺
- 経済メタボ→バブル
- 環境メタボ→人類の生存危機

Nanotechnology

**バイオ
Biotechnology**

ユビキタス(ICT)

Ubiquitous technology

Wearable Sensor Technology

社会活動(Social Activity)

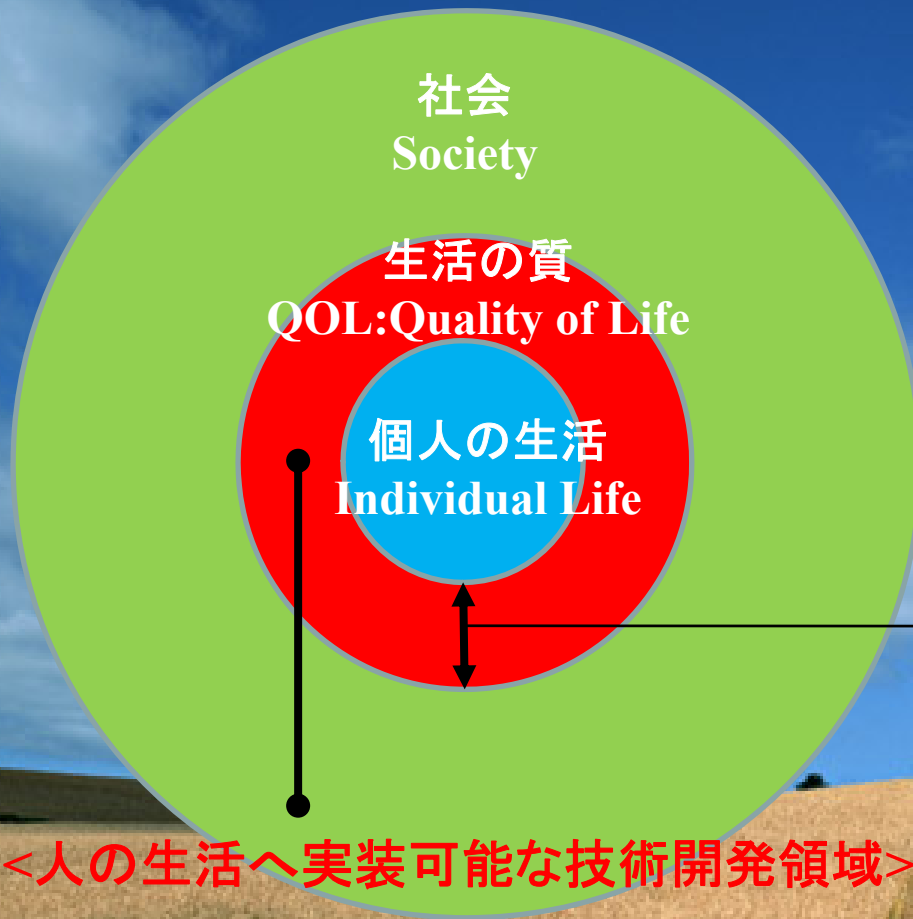
コミュニケーション(社会活動)の維持向上

健康の維持・向上

経済(価値)の維持・向上

QOL

石油経済から知財経済へのパラダイムシフト



知識や情報を精製して価値を創造する知財経済への転換が可能で、石油経済によって創造されたテクノロジーを人類の生活の質へ活用することで、社会力学の動力を構築し、社会の質のゆらぎから雇用の創出を計るパラダイムへ

生活知財とは個人が生活の質を持続する為に必要な知的財産で、人が社会で生活する為に必要な情報(情報薬)と、人が変化する社会に適応する為に必要なテクノロジーを利用(実装)する為に必要な権利をさします。

<人の生活へ実装可能な技術開発領域>

<QOLサイエンス> → 人の生活へ実装すべき技術を研究し、社会科学を基に既存技術の利用と実装に必要な社会制度の研究。

<QOLエンジニアリング> → QOLサイエンスを基にして、実装すべき技術と社会制度をセットで開発する工学。

<QOL応用ビジネス> → QOLエンジニアリングを基にして、実装すべき技術と社会制度を運用する為の雇用と仕事。

資料の提供と協力へのお礼

(以下、50音順)

QOL応用ビジネス研究会
知財応用研究会

(独)産業技術総合研究所セルエンジニアリング研究部門
三宅正人グループ長

スクワイヤ・サンダース外国法共同事業法律事務所
松本宗大弁護士、木下聡子弁護士

(財)ダイヤ高齢社会研究財団
澤岡詩野主任研究員

(株)ニッセイ基礎研究所
前田展弘研究員

(株)日本ハンズオン
窪田文弘代表取締役

Strategic Planning for IP Innovation and Technology Innovation, based on QOL

Try not to become a man of success but rather to become a man of value.

By Albert Einstein

www.wiph.co.jp